

浅羽野中だより 「胡桃の木」 カラー版 No.18

学校教育目標 「学び 鍛え 思いやる」

～「浅中力」と身につけた生徒の育成～

令和5年11月8日 坂戸市立浅羽野中学校 校長 小林 正明

〔素晴らしい胡桃祭「合唱の部」〕

今年度の胡桃祭「合唱の部」を、10月31日(火)に坂戸市文化会館で実施いたしました。当日は多くのご来賓や保護者の皆様にご来館いただき、感謝申し上げます。

合唱練習期間中は、コロナによる学級閉鎖やインフルエンザによる欠席者の増加など感染症の影響で、満足に練習する機会を確保することが出来ませんでした。また体育祭の反省から、3学年揃って当日を迎えられるように部活動を中止にするなどの予防策を講じるなど、細心の注意を払って当日を迎えました。

今年は現地集合現地解散、自転車の利用も可としたので行き帰りの交差点等で教員が立哨指導していましたが、生徒は自主的に交通ルールを遵守し、交通事故はありませんでした。また、弁論大会を別日にしたことで時間的にも余裕が出来、明るいうちに生徒は帰宅することが出来ました。

胡桃祭では、生徒が今までの練習の成果を思う存分発揮し、各クラスが美しいハーモニーを競い合いました。ホームページ内の「学校の様子」にもアップしていましたが、この日のために約3週間、感染症の影響を受けながらも、昼休みや放課後などを使って一生懸命練習してきました。1年生から合唱が始まりましたが、学年が上がるにつれて、重みと奥行きが感じられるような歌声になっていくのがはっきりとわかりました。特に3年生の合唱はどのクラスも甲乙つけがたく、下級生のお手本となるような、きれいなハーモニーと美しい歌声を披露してくれました。そして各学年ともに、指揮者や伴奏者にも今までの努力が表れていました。特に伴奏者は、夏休み前から練習を始めるなど、長い時間をかけて見事な伴奏を完成させました。一人ひとりの努力の積み重ねが、それぞれのクラスの合唱を作り上げているということを実感できました。また、合唱だけでなく私が感心したのは、生徒の聴いている態度です。おしゃべりしたりキョロキョロするなど、頭が動いている生徒が一人もいませんでした。

1日を通して、とても素敵な時間を過ごすことが出来ました。行事のたびに浅羽野中の素晴らしさを感じる事が出来ます。本当に立派な生徒たちです。



胡桃祭 合唱の部 最優秀賞：3年3組、2年2組、1年3組
指揮者賞：3年1組、2年2組(自由曲)、1年2組(自由曲)
伴奏者賞：3年2組(課題曲)、2年1組(課題曲)、1年2組



<3年生の集合写真>

[市内音楽会]

11月2日(木)に坂戸市小・中音楽会が坂戸市文化会館で4年ぶりに開催されました。この音楽会は、午前中に市内の小学校が合唱や合奏、午後に中学校が合唱を披露しあう会です。本校からは、胡桃祭「合唱の部」で最優秀賞を獲得した2年2組と3年3組が出場しました。他校の合唱を聴き合う貴重な会となりました。学年はもちろん、学校によって個性があり、それが歌声によく表れていました。本校の2クラスは、他校に負けず劣らず立派な合唱を披露していました。



2年2組



3年3組

[小中合同あいさつ運動]

今年度2回目の小中合同あいさつ運動を、11月6日(月)と8日(水)に行いました。今回は生徒会総務役員と1、2年生の学級委員が浅羽野小学校に出向き、



小学校の運営委員会と

一緒にあいさつ運動を行いました。あいさつ運動を行う度に、元気にあいさつできる小学生が増えているという実感があります。浅羽野小中学校の伝統として、これからも続けていきたいです。

